

24年度一般会計補正

議案審議

②

③

一般質問のやりとり報告.....④～⑦

委員会研修報告.....⑧

表紙の紹介と町の情報.....⑨～⑩

南関高校演劇部による 「トシドンの放課後」の1シーン



24年度一般会計補正予算 8,019万円追加し、総額51億5,773万6千円に

専決処分(平成24年11月20日専決)の報告及び承認

平成24年度南関町一般会計補正予算(第4号)

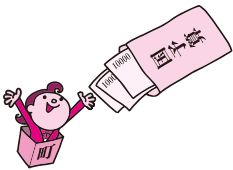
歳入 衆議院議員総選挙県委託金 7,035千円
歳出 衆議院議員総選挙費 7,035千円

総務費



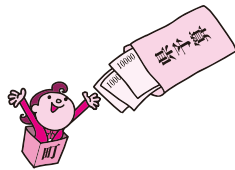
357万7千円

国庫支出金



1,981万3千円

県支出金



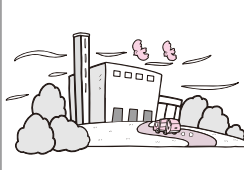
1,116万1千円

民生費



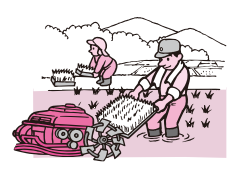
4,680万5千円

衛生費



831万2千円

農林水産業費



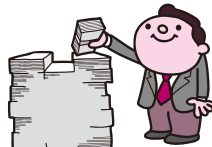
1,430万円

財産収入



14万2千円

繰入金



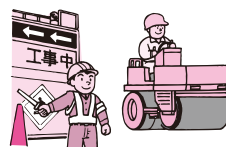
4,000万円

商工費



4万3千円

土木費



635万5千円

消防費



△255万3千円

諸収入



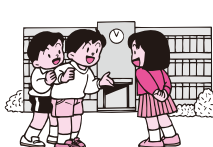
△252万6千円

町債



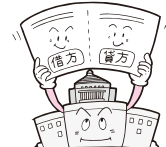
1,160万円

教育費



154万円

公債費



130万6千円

予備費



50万5千円

歳入

歳出

一般会計補正予算歳出の主なもの

定住住宅取得等補助金 ……275万円
幸せのまちづくり奨励金 ……30万円
障害者自立支援給付費 ……2,628万2千円
療養給付費負担金 ……596万9千円

私立保育所運営費負担金…1,039万6千円
こども医療費扶助費…817万7千円
県営土地改良事業費負担金
(南関東地区) ……1,000万円

特別会計

国民健康保険 ……歳出のみ予算調整(増減)
公共下水道事業 ……3,019万1千円
簡易水道事業 ……2万1千円

介護サービス事業…歳出のみ予算調整(増減)
浄化槽整備推進事業 ……63万4千円
後期高齢者医療 ……△45万6千円

※△は減額、無印は増額を示しています。

※特別会計は補正額を示しています。



南関消防団
(末竹信雄団長以下489名)

平成24年南関町議会第4回定例会が 12月12日から12月14日まで3日間開かれました

- 専決処分の報告及び承認を求めることについて ————— 承認
平成24年度南関町一般会計補正予算（第4号）
- 南関町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について ————— 可決
- 南関町法廷出頭人等の費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について — 可決
- 南関町暴力団排除条例の一部を改正する条例の制定について ————— 可決
- 平成24年度南関町一般会計補正予算（第5号）————— 議決
- 平成24年度南関町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）外5件の特別会計補正予算について — 議決
- 工事請負契約の変更 ————— 議決
南関第三小学校屋内運動場耐震改修工事、変更後の請負金額 1 億9,457万6,640円になりました
- 南関町過疎地域自立促進計画の一部変更について
3 交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進
(3) 計画 町道に巖・今線 改良 L = 1.000 m W = 5 m
冷水線 改良 L = 265 m W = 5 m
中原線 改良 L = 555 m W = 5 mの追加
関村・田原線 新設、前原第一橋梁整備に名称変更及び事業内容変更 ————— 議決
- 有明広域行政事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について ————— 可決
- 南関町固定資産評価員の選任について 東豊永 上田俊治さん ————— 同意
- 南関町固定資産評価審査委員会委員の選任について ————— 同意
細永南 福山則行さん 上坂下 西島文郎さん 関町 伊藤 豊さん
任期は平成25年1月4日から3年間

議会提出議案

- 南関町議会会議規則の一部を改正する規則の制定について ————— 可決
- 南関町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について ————— 可決

請願書の取り扱いと結果

- 種鶏孵化場の臭気改善を求める陳情 ————— 継続審査
- 女性農業委員数の確保・拡大に向けた要望書 ————— 採択



総務文教委員
広報委員

境田敏高

住宅取得等補助金の 支払い金額はいくらか

境田

2,175万円の補助金、 約6億円の経済効果

町づくり推進課長

A まちづくり推進課長
平成23年度は新築11件、中古住宅購入8件、リフォーム4件で、補助金額が1,025万円、総工事金額は3億1,6

Q 住んでよかったプロジェクト推進計画は平成23年度から年間約1億円の予算で事業計画を立て、町内居住者の定住を図るとともに、町外からも南関町に住んでもらおうと、中学3年生までの保険診療自己負担分の医療費助成、月2,000円の小中学校給食費補助金など、18の事業がある。その中に、南関町定住住宅取得等補助金があるが、この制度を活用しての年間の総工事金額、それに伴う補助金はいくらになるのか。

A まちづくり推進課長
住環境の整備、あるいは商工業の発展と振興のために補助する制度ということで、現制度とは別の制度を検討するのも一つの方法かと思う。現段階では、商品券は使っていないが、その補助額が、10万円とか、小額になつてくればTMO商品券等も活用は十分に考えられると思う。

Q 全国各地で、地域活性化を目的としたリフォーム助成は大きな成果を生んでいる。他の市町では、誰でも、店舗にも使える制度を取り組んでいる。補助は商品券で、しかも町内しか使えないような制度を設けてはどうか。

40万円であった。また、平成24年度の11月末まででは、新築12件、リフォーム8件で、補助金額が1,150万円、総工事金額は2億7,290万円となっている。1年8カ月で約6億円の経済効果も出ている。

Q 制度助成による転入者の推移はどのようなだったか、人口が増えればいろいろな波及効果があると思う。交付税はどれくらい増えたか。

A まちづくり推進課長
平成23年度が27人で369万9,000円、24年度の11月末までが21人で287万7,000円、2年間で657万6,000円の金額に相当する。

Q 町長 小規模工事なので契約担当の方で説明をしていくといった方向で考えていきたい。発注件数は施行から11件、契約金額は

A 町長 小規模工事なので契約担当の方で説明をしていくといった方向で考えていきたい。発注件数は施行から11件、契約金額は



く貢献したと思う。関連する経済効果は素晴らしい成果を生んでいる。

Q 小規模工事等契約希望者登録制度が設けられ2年が経つ。通常、町の工事を施工するには、県の営業許可を取り、入札参加資格を受けたりしないと工事にはできないが、この制度にはその審査がない。普通は喜んで登録すると思うが、なぜか少ない。何回も足を運び事務手続きも慣れないためか面倒がられる。窓口の一本化など、手続きの簡素化は検討されているか。

A 町長 保有施設の管理については日頃の保守点検が一番大事と思う。それぞれの施設の中で長寿命化計画を立て補修、修繕の施設管理を進めていきたいと考えている。

Q 保有施設の管理については、早めの対策をとり、予防保全に力を注ぐべきだ。

井下

不法投棄対策は・・・

看板と監視カメラの設置

住民課長



委員長
文教委員
総務委員
広報委員

井下 忠俊

浦田理恵さんの想いを南関町で・・・

Q 小・中学校の体育の授業にゴールボールを取り入れることは出来ないか？

A 教育長 ゲーム感覚から始め、ボール運動そして得点性の競技というように低学年から高学年にかけて段階的に取り入れることは、可能である。

Q 一般の人がゴールボールに触れる機会はあるか？

A 教育長 鈴の音を聞き分ける事が出来る静かな環境づくり、また競技者同士の衝突防止などを考えなければならぬような課題も出てくる。そんな中、A-ライフなんかんの理事である熊本学園大学の教授が平成25年に6回ほどゴー

ルボールの講座をやったという企画をされているので、その発信を南関会場で行ってほしいという事を事務局から働きかけているところである。実現すれば議員の提案に近づくと思う。

Q 是非、ゴールボールが南関町に普及するよう努めてもらいたい。

A 教育長 そのスポーツにおける指導者の育成、また用具に関しても量産されていないためコスト面においても他のスポーツに比べ高くなっている。そのような事から相当のステツプが必要かと思う。

おすひ 視覚に頼らず聴覚と触覚だけを頼りに仲間との信頼のうえで成り立つこの競技は子どもにとっても新たな能力開発につながると思うし、浦田さんが南関町に与えた功績は非常に大きい。今後、この金メダリストの想いを南関町として受け止める環境をつくってもらいたい。

不法投棄について

Q 平成23年度町内で行われた一斉クリーン作戦で回収されたゴミの量はどれくらいだったか？

A 町長 毎年行っている6・8月の一斉クリーン作戦等で配布するゴミ袋の枚数での比較になるが、1,108枚であった。平成20年度673枚に比べると倍近くになっているが、ここ一年は横ばい状態である。

Q 不法投棄に対する町の対策は？

A 住民課長 8名の不法投棄防止監視委員さんに委嘱をし、不法投棄の未然防止と早期発見のため定期的な巡回と一部の清掃業務等をお願いしながら、生活環境の保全や公衆衛生の向上を図るため、ご尽力いただいている。また、不法投棄防止の看板や監視カメラを設置している。

Q 南関町のゴミの不法投棄等に関する条例は？

A 住民課長 町民の皆様と町が一体となり環境美化の促進を図り、清潔で美しい町づくりを目指すため「南関町環境美化に関する条例」が平成8年3月に制定されている。この中には勧告・命令・更には住所・名前の公表までが盛り込まれている。



Q 空き地・空き家・住宅そばなどに一方的に捨てられているゴミに対する町の対応は？

A 住民課長 特に景観を阻害する町道沿い等については職員が対応しているが、基本的には管理者の方にゴミの措置はしていただくものと思われる。

Q 町民の方の中には免許を持たない人や身体の不自由な人もおられる。全てには言わないが、そういった人達に対しては担当の職員が回収に行く位の配慮が欲しいと思う。

A 住民課長 高齢者の方や障がいを持つておられる方に対してはこれまでに以上に福祉課や社協と連携を取り優しく丁寧に対応していきたい。

おすひ ゴミの不法投棄についてはこの町でも問題になっている。この南関町の環境・美化を守るためにも、必要とあらば罰金制度も取り入れるべきではないだろうか。もちろん、抑止力のためにも。



総務文教委員
議会運営委員

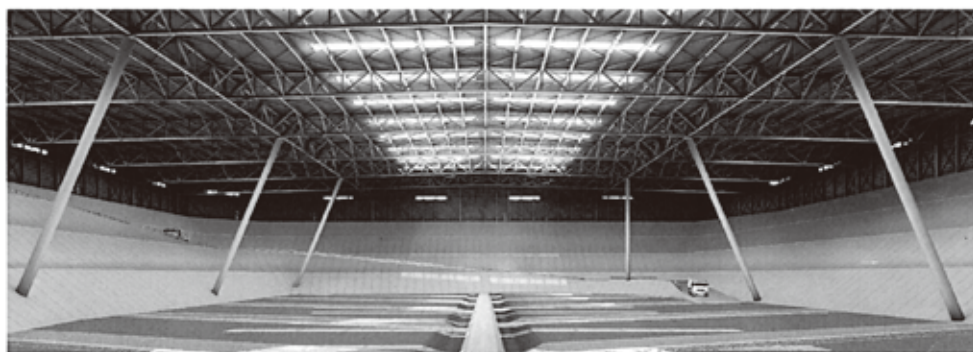
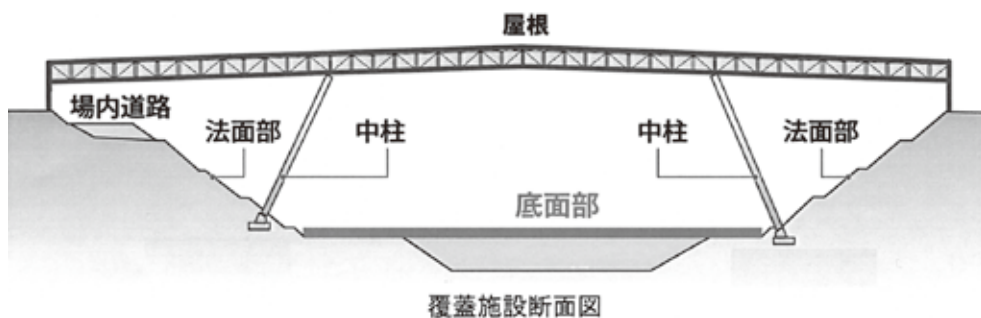
唐杉純夫

産廃受け入れ時の 監視体制

唐杉

監視委員会の設置により 町長 安全を確保していきたい

- Q** 有害物侵入阻止のために監視体制に地元住民を入れるのか・立ち入り権についてはどうか。
- A** 審議員 監視委員として地域住民代表者に参画してもらう予定である。立入りにあたっては広く地域住民の参加も要望したいと考えている。
- Q** 常時立ち入りを認めるか。
- A** 審議員 常時と言われるが毎日監視というのはちよつと疑問であるが要望は伝えたい。
- Q** 監視委員会は地元住民を納得させることの出来る組織が必要だ。町が地域住民のことを本当に守ってくれるのか。サポートしていくのが町である。



事業団は産廃を埋め立てさえすれば事業が成り立つが、町の立場は違う。町は地元の人たちの生活、安全を保証してやらなければならない。今は町独自の判定基準・分別基準が必要だと思う。

- Q** が、作成の準備はどうか。
- A** 審議員 町独自の作成基準を作る準備はしていない。
- Q** 町として住民の安全をどうやって守るのか。それをやっていないとはよく言えたものだ。

監視委員会というのは、本来の意味では県ではなく地元である。地元が監視をどうやるかが基になって県を使っていく。どうやって住民の安全を汲み上げていくかというのが町の役割である。

- 元々産廃処理は法をはじめ全てが性善説に基づいている。しかし、監視委員会の役割は性悪説によらなければならない。県は環境保安協定書や監視委員会とか作ってしまえばお終いである。
- Q** 次に混載品の可否判定基準、疑問物質の精査はどう考えているか。
- A** 審議員 車両の荷台に仕切りを設けていない場合は基本的に混載を禁止している。

- トラック計量時、埋め立て地に搬入された廃棄物の荷下ろし時に職員が目視で判定する。疑問物質の精査についてはマニフェストで確認する。契約時と別の物質が搬入された場合は受け入れない。
- Q** 埋め立てまでの受入れ検査場所のスペースはあるか。
- A** 審議員 専用の検査スペースを設ける計画はないが、町としては監視委員会の設置により地元住民一体となって監視していくことで安全を確保していきたい。
- ※** 有害物がどのような形で入ってくるのか、町は真剣に考えていない印象だ。事業団がいったん埋め立て処分場内に入れたものを不合格品、あるいは問題品として持ち帰らせることが現実に行い得るのかどうか。地元住民の未来を含む、環境安全の「自主防災組織」がいまこそ必要ではないか。

視察研修に行ってきました

議会運営委員会

11月8日(木)
球磨郡多良木町、球磨郡山江村を視察

議会活動や町づくりについて

◆10月8日(木) (球磨郡多良木町：人口約10,500人、面積166km²)

議会活動や町づくりについて研修しました。本町では平成23年に議会活性化特別委員会が設置され、議会報告会が開催されています。議員が3班に分かれ、議会定例会の審議状況や町の動きを報告、地域の現状や課題等を町民と座談会形式で進め、一般会計の概要、重要施策など、議会が承認した事項を詳しく説明しているとのことでした。

研修では、報告会実施の背景や具体的な準備、意見の取りまとめ作業から、住民への結果報告まで、一連の動きについての研修を受けました。町づくりの点では、2010年にJR九州からブルートレイン〔はやぶさ〕の車両を購入し、簡易宿泊施設として改造(※写真はコーヒーラウンジに改造された車両の内部)、温泉センターと組み合わせた観光推進としての活用が印象的でした。



ケーブルテレビによる議会中継システムの視察

◆11月9日(金) (球磨郡山江村：人口約3,700人、面積121km²)

情報公開施策として実施中のケーブルテレビによる議会中継のシステム見学を行い、町政の課題や取組みがどのように住民に伝えられているか研修しました。総面積の約9割が山林で、テレビの難視聴地域があり、情報格差の解消が課題であったため、平成20年から地域情報通信基盤整備事業に着手、村内全域にケーブルが整備されました。多チャンネル放送に加え、22年度から議会中継が実施されており、「常に村民を意識し、一言の重みを実感、議会も執行部も言葉遣いが変わった」の説明は印象的でした。

広報調査特別委員会

11月28日(水)
熊本県市町村自治会館

町村議会広報研修会

11月28日(水)熊本県市町村自治会館にて開催された研修会に参加しました。この研修会は広報作成の要領について、県下の町村議会広報担当者を対象として開催されたものです。講師は熊本日新聞社NIE専門委員の越地 真一郎氏が務められ、議会広報作成の心構えから、文章作成の要点、文体の統一、写真の説明・配置・構成、リードと見出しの重要性、議会だよりの反応、どの程度読まれているか、保存方法、アンケートの必要性といったことまで多岐にわたり事例を紹介しながら説明されました。ポイントとして、①見出しで終る人もいる、コンパクトとインパクトの重要性。②「広報」から「議会」が見える。③文は人なり・伝えると伝わるは別という指摘に、広報委員としての責任を感じました。研修会ではパネルディスカッションもあり、各町委員の質問に対する応答もあり有意義な研修会でした。今後さらに研鑽を重ね、町民に読まれ、しっかり議会活動を伝える役目を果していきたいと思います。



今後どうなる!! 「うから館」

福祉の増進と文化振興のための「うから館」が、指定管理者公募に申し込みがない状態になっています。現指定管理者の契約は今年3月までとなっており、4月からの運営が宙に浮いたままの状態です。

うから館は平成10年にオープンし、来場者が年間20万人を超える時期もありましたが、隣接市に温泉施設がオープンし、利用客が分散したことにより18年度から赤字に転落しました。町は経費節減を目指し、指定管理者制度を導入、20年4月からは津留建設㈱が指定管理者となり運営されてきましたが、来場者の減少傾向に歯止めがかからず、管理運営費の増大で赤字となっていました。現契約では管理委託料がなく、引き受けできないとして委託料の提案がありましたが、町の案との差がありすぎ、議会でも協議されてきましたが結論は出ていません。

今後、指定管理者が決まらない場合は再度管理者の公募をせざるをえませんが、決まるまでは町で管理運営しなければならないこと、決定までには6カ月から8カ月の期間を要するなどの問題が残されています。休館する事態だけではないように一刻も早い対策が求められています。



運転手の
伊藤さん

町民バスが 新車になりました

12月7日、29人乗りの新しい町民バスが納車されました。昭和60年にスタートした町民バスも3台目となり、旧バスは平成7年の登録でしたので代替として購入されたものです。3社の入札により770万円で落札されました。前車も伊藤さんの運転により遠くは山口県などへも走り、年間200日、約4,400人を乗せ頑張ってきました。町民バスは園児、児童、生徒や老人会、婦人会など

の団体が研修会等に参加するときの送迎用として利用されます。高齢者の方を考え、昇降口のステップを改良、さらに町のマスコットキャラクターである「なんかんトッパ丸」を描き、南関町のバスであるということをアピールされています。これからも町民の皆様に愛され、大いに活躍してほしいものです。



◀表紙の紹介(第17回人権フェスティバル)

2月3日、教育委員会が中心となり、人権を考え、いじめや差別をなくす活動として第17回人権フェスティバルが町公民館で開催されました。保育園児による歌や劇の発表は微笑みを誘い、小・中学生による構成詩や学習発表などの多彩な演目は、親や友達、周りに対して感謝の念を忘れないこと、思いやりの大切さがよく表現されていました。南関高校生による演劇は、クラスに馴染めない高校生の少年と反抗ツッパリ少女が、登校学習と登校謹慎という二人だけの特別教室の中で相手を理解していくという組立てでした。ラストでは甕島出身の少女が故郷に伝わるトシドンの伝説を借りて、進級できずに落ち込んだ少年を叱咤激励するというストーリーでしたが、なかなか見ごたえがあり、終盤の盛り上がりは皆さん感涙の状態でした。同校が15年度に荒尾高校と統合される計画が発表されましたが、演劇終了後、統廃合問題は教育の原点が忘れ去られているという多くの方の意見は、熱演であったが故の切実な訴えであると思いました。

住んでよかったプロジェクト推進事業

南関町住宅取得等補助金

南関町定住住宅取得等補助金は、町の人口増加と若者の定住化により、活力あるまちづくりを推進し、町内において住宅の取得を行う者に対して町が補助金を交付するものです。

【新築または新築建売を購入した場合の補助金は50万円ですが、地元登録業者による施工の場合は別に50万円が加算されます。中古住宅購入の場合は25万円で、別途加算が25万円です。リフォームの場合は経費の20%（上限25万円）、別途加算

平成23年度から5年間の間に、定住のため町外から南関町へ転入後1年以内や、町内若者世帯では夫婦年齢合計が80歳以下の世帯、または小学生以下の子を扶養する者がいる世帯が、住宅の取得、リフォームをし、定住しようとする場合に最高100万円まで交付されます。



が経費の10%（上限が25万円）です。それぞれの取得にかかる経費が100万円以上の場合に対象となります。」詳しくは町づくり推進課にお問い合わせ下さい。

南関町上坂下のHさん（28歳、妻と子ども2人）は、地元業者により新築され、「100万円の補助金は大きい、ありがたい」と語られています。新築住宅については、固定資産税額5万円を限度に3年間の固定資産補助金もあります。因みに平成24年度の新築による固定資産課税額は697,000円となっています。

施行から1年8ヵ月、建築工事には関連する業種が多く、大きな経済効果を生み出しています。

た く は い び ん 宅配便



勇壮な消防出初式 南関町消防団ここにあり

「龍吐水」の購入を祝い、竜瀬川の両岸で2組に別れてポンプによる標的落しが行われ、その際、競技に勝った組が負けた組に押しポンプで水をかけたことが始まりと伝えられています。

南関町消防団（末竹信雄団長、489名）による消防出初式が1月12日に行われました。南関町の放水合戦は全国的に有名ですが、始まりは明治15年、当時最新鋭の消防器具であった押しポンプ

は、ほとんどが正統から昭和初期に製造された年次物で、ラッパの音が鳴り響く中、まさに人力による放水合戦が繰り広げられました。消防団員の方達にとって、この出初式が終わるまでは年が明けた気分になれないそうです。消防団員の士気象徴する伝統的な行事であるところから、人口減少の中で団員魂を守る南関町消防団を少し紹介しておきます。放水合戦、

団の歴史を頭に入れて観戦して頂ければ、来年からの観戦の楽しみが増えるのではないかと思います。

消防団の変遷

()は女性団員数

	昭和30年	平成10年	平成21年	平成24年
分団数	5分団30部	4分団20部	4分団20部	4分団20部
団員数	630人	544人	498(5)人	490(7)人
年間予算(千円)	2,007(S34年)	232,300	201,924	193,375(見込み)

女性の参加が平成20年から始まり、平成25年現在、7名の方が頑張っておられます。

団員資格 18歳以上50歳まで

平成21年10月1日から、45歳定年が50歳に引き上げられました。平成24年の消防団出動回数は、建物火災1件、林野火災7件、捜索等4件でした。

圃場整備事業 県営南関東地区 追加予算つく

長年の懸案であった東地区の整備事業に目途がつきました。少しずつでも着実に実現しつつある事業、目に見える形で整備されていく現地の状況、24年度から関外目墨摺川工区、久重松丸工区、上坂下八田工区の圃場整備事業が進められています。この度の12月議会でも東地区の追加予算が承認議決されました。国の予備費による緊急経済対策により、1億円（農業体質強化補助金）が予算化されたことによ



上坂下八田工区の圃場整備

り、事業実施に伴う町負担金1千万を追加するものです。
作業効率の向上が経営効率の向上に繋がり、耕作意欲の向上、後継者の確保に繋がります。南関町の整備率はまだ31%であり、今後更に整備を急ぐ必要があります。

町の情報

最終処分場計画

進捗状況と 今後の予定について

平成24年11月22日、議会全員協議会に於いて、熊本県公共関与推進課からの説明を求めました。

1. 入札結果

設計施工から維持管理までの長期包括的運営方式で、平成24年5月に入札の公告がなされ、10月19日に落札者が決定、同月26日に契約が交わされました。今後、詳細設計を経て、今年夏ごろに工事着工、平成27年秋頃の供用開始の計画となっています。

2. 施設概要

屋根や外壁で覆い、処理水を川に流さないクローズド無放流型となっており、遮水工法、漏水検知システム、覆蓋施設、浸出水処理施設、危機管理の説明と、県北の環境拠点となるよう、施設内外での体験型環境学習施設の整備を図るといった説明がなされました。
町としても、安全・安心の更なる追求と監視体制の確立を十分に図る必要があります。

落札金額	5,229,000千円（税込み）
落札者	鹿島・池田・興亜・岩下特定建設工事共同企業体
埋立容量	42万㎡以上
埋立面積	31,200㎡程度
埋立年数	約15～20年間
契約期間	平成24年10月29日～平成27年9月30日

地域振興策の進捗状況及び今後の予定

平成25年1月17日、議会全員協議会に於いて、熊本県公共関与推進課からの説明を求めました。南関町、和木町からの要望を踏まえ、現在町執行部と大詰めの協議を行っており、細部までの検討を加え、関係部局と連携して地域振興策を策定していくとの説明でした。具体的には道路整備や公民館改修、レクリエーション広場の整備などが想定されており、3月県議会である程度の具体的内容が示されるものと考えられます。



全体イメージ図

議会日誌

11~1月

主なものを載せています

- 11月5日 広報調査特別委員会
- 11月6日 議員研修(熊本市)
- 11月8日 } 議会運営委員会視察研修
- ~9日 } 球磨郡(多良木町山江村)
- 11月15日 産業厚生常任委員会
- 11月22日 議会全員協議会
- 11月28日 { 広報調査特別委員会
- 研修会(熊本市)
- 12月4日 議会運営委員会
- 12月6日 総務文教常任委員会
- 12月12日 } 12月定例議会
- ~14日 }
- 12月18日 総務文教常任委員会
- 1月17日 総務文教常任委員会
- 1月17日 議会全員協議会

議会を傍聴してみませんか?

次回の議会定例会は
3月開催の予定です。

お問い合わせは
議会事務局 ☎57-8508 番へ

Topic!

巳年の豆知識



今年は12支の中で6番目にあたる巳年になります。この「巳」という文字は胎児の形をした象形文字で、蛇が冬眠から覚め地上に這い出す姿を現しているとも言われ「起こる・始まる」などの意味があります。また、蛇は脱皮をすることから「復活と再生」を連想させ、餌を食べなくても長く生きることが出来るため神の使いとして崇められ、全国各地に蛇神として祀っている神社もあります。古くは稲作が始まった弥生時代、穀類を食べる鼠を捕まえることから、蓄財にもご利益があると言われ、その名残として蛇の脱け殻を財布に入れておけばお金が貯まるという風習が始まったそうです。また、蛇は執念深いと思われていますが、恩も忘れず助けてくれた人には恩返しをされると言われています。私は、蛇という生き物が最大の苦手ですが、巳年にあたる今年だけは努めて仲良く付き合っていきたいと思っています。(井下)

耕作放棄地の現状



編集	(広報調査特別委員会)				
	委員長	打越 潤一	委員長	井下 忠俊	副委員長
発行責任者	委員長	田口 浩	委員	鶴地 仁	委員
	委員	境田 敏高	議長	本田 真二	

昨年暮れから今年にかけては縁あって農地について考えさせられた。いわゆる一部耕作放棄地ともとれる雑木、雑草の生い茂る田の攻略方法だ。攻めるかそれともそのまま放置か。一日少しずつ攻めてみる。体を動かすしか方法がない。足腰が痛い人には言えず。母は息子の日々の暮らしを見ておれず、手伝う羽目になる。いつまでもわが子は子である。ありがたさが身に染みる。自分の痛さは口に出さず、しかし仕草でその様子が理解できる。雨、用事が身体を休める。目標に向かって今日も明日も明後日も。手を入れた分がよくなっていく、それが自分たちへのご褒美だ。町内のあちらこちらで目に付く耕作放棄地。近くに後継者がいないのか、それとも手を入れる価値がないのか、それぞれの所有者の判断だ。少子高齢化社会を皆で考えていかなければならない課題が身にせまっている。(打越)

タイプブレイク

編集後記

荒れる田んぼとの戦い

